



あした
明日の象徴
健やかな日本の明日を築く若い世代の
イノベーション追求を称える

平成27年7月吉日

あした 第4回「明日の象徴」候補者推薦のお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、皆様のご支援のおかげで、これまでに「明日の象徴」プログラムにて、国内外で活躍する卓抜した若者達を見出すことができました。「明日の象徴」は35歳以下の研究者、医師、その他医療分野で働く若者の功績を称えるものです。将来公衆衛生に大きく貢献する可能性を秘めた活動も含まれます。このような若者達は、まさに日本の輝かしい未来であり、日本の伝統である創造的、革新的、献身的な努力を継承する方々です。

そこで、今年度も皆様より「明日の象徴」に相応しい候補者のご推薦を賜りたくお願いを申し上げます。二人以上ご推薦いただいても結構です。選考は共催、後援団体から独立した審査委員会によって厳正に行われます。また、諮問委員会では本賞のあり方についてご意見を頂戴しております。顕彰の概要、審査委員、諮問委員の名簿は同封の文書をご参照下さい。

「明日の象徴」は、公益社団法人全日本病院協会、一般社団法人日本病院会、イーライリリー・アンド・カンパニーが共催します。後援は公益社団法人日本医師会、公益社団法人日本看護協会です。またこれまで総務省、外務省、文部科学省、厚生労働省、経済産業省に授賞式を後援していただきました。

顕彰部門は以下の通りです。

- **研究者部門**：医学、ライフサイエンス分野における基礎、臨床、公衆衛生に従事する研究者
- **医師部門**：専門医、プライマリーケア、地域医療、公衆衛生に従事する医師を含む
- **社会政策部門**：医療経済、医療政策を含む社会政策分野における研究者
- **看護、保健部門**：看護職、助産婦、セラピストを含む
- **ボランティア部門**：自身の貴重な時間を使って無償で活動を展開し、医療、ヘルスケアの分野で新たな領域を開拓している個人
- **ヘルスケア基盤部門**：上記分野以外であらゆる医療、ヘルスケアに関連する業種の従事者。例えば薬剤師、医療IT、病院経営、医療機器、インフォマティクス、起業家など

授賞式・祝宴は平成27年11月10日(火)、東京プリンスホテルにて、日本の各界を代表する方々約500名をお招きして執り行われます。当日は受賞者に加え、その推薦者もゲストとしてご招待致します。受賞者にはその功績を称え記念杯が贈られ、受賞者が帰属する組織に100万円が贈呈されます。

日本、世界の公衆衛生、福祉向上に対する功績を称える本賞の趣旨にご賛同いただき、日本の将来を担う若者達をご推薦賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。締め切りは平成27年8月31日(月)となっております。何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

公益社団法人全日本病院協会 会長 西澤 寛俊
一般社団法人日本病院会 会長 堺 常雄
イーライリリー・アンド・カンパニー 会長、社長兼CEO ジョン・レックライター